算数科の実践　5年生：面積

学習課題：「面積の求め方を説明しよう」

活動の流れ

1. 既習事項を確認し、学習の見通しを持つ。

2. ロイロノートや紙を操作して、考え方を整理する。
（アナログとデジタルの併用）

3. ロイロノートを見せながら、グループで考え方を説明したり質問し合ったりする。

4. グループ活動を経て考えを修正・追加したものを「提出箱」に提出する。

5. デジタル黒板にロイロノートを写し、考え方を全体に説明する。



自分のロイロノートを見せながら、グループの友達に考えを説明する様子。



話し合い活動を経て修正したロイロノートを使って、考え方を全体に説明する様子。

社会科の実践　5年生：自動車の生産にはげむ人々

学習課題：「自動車の性能や生産力を高めるための工夫を予想しよう」

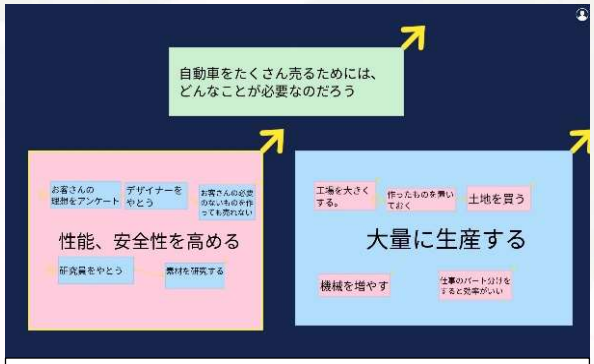
活動の流れ

1. 教科書の資料から自動車の生産台数が増えていることや、自動車の性能が向上していることを読み取る。

2. 学習課題を立て、個人で予想したことをロイロノートに整理する。

3. 共有ノートを使い、話し合いを通して、それぞれが予想したことを共有したり関 連付けたりする。

4. より妥当と考えられる予測を立てたり、考えを深めたりする。



共有ノートにより、児童の考えを容易に共有したり関連付けたりすることができた。

成果

　両授業とも、児童がICTを単なる発表ツールとして活用するだけでなく、自らの考えを共有し、他者との対話を通して学びを深める姿が見られた。特に、児童同士が互いの考えをもとに学習を進める場面が多く見られ、徳島ICT活用モデルにおけるM段階の実践として、主体的・対話的で深い学びの実現につながった。